

飯田OIDE長姫高校 松本街歩き



の生き方を考え、郷土愛を育み、地域活性化や地域社会に貢献できる人材になるように育成することを目的に行われています。

飯田市内での取り組みにむけ、まずは松本において、地域の方へ取材をしたり、街を自由に歩いて資源や課題を発見したりして、結果をまとめるという作業を行います。

ちなみに、「OIDE」の意味は「おいで」ではありません。

昨年の10月21日、飯田OIDE長姫高校の1年生が大名町・緑町・上土町・縄手通りの街歩きを行いました。

この取り組みは、飯田市、飯田OIDE長姫高校、松本大学が連携した「地域人教育」という事業です。高校生が地域理解を深め、地域での

11月に開催されたえびす講、生徒たちのまとめたものが、

街歩き当日は、コロナの感染防止の観点から、事前に決めたコースを歩き、土産物や風景などを探し、街の魅力や課題を見つける内容で実施し、まとめの作業は飯田で行いました。

〇〇オリジナリティ(獨創性)、I(イ)マジネーション(創造性)、D(ディ)ヴェイス(工夫)、E(エ)フオート(努力)の頭文字を取ったものです。

5月に予定されていた街歩きに向け、中央地区では3月から高校生向けの学習資料作りを行いました。街歩きの対象である大名町、緑町、上土町、縄手通りの住民の協力の下、まちがどのように移り変わってきたのかを資料にしました。

しかし、本年度は新型コロナウイルスにより5月から10月へ延期となりました。延期により時間が出来たことから、中央地区では学習資料をパワーアップさせ、高校生へ送ることが出来ました。

さらには大手公民館でもパネル展示されました。

高校生たちのまとめから、新旧の街並みが一体となっていて雰囲気が良い

街の中にも自然がたくさんある

- 小路がたくさんあって、歩いて楽しい
- 人が優しい
- 道が狭く歩行者と自動車や自転車の距離が近い
- ゴミがちよつと目立つ
- お店の定休日が重なり、行ける店が少ない曜日がある

今回事前学習資料の作成など中央地区の皆様にご尽力いただいたおかげで、新型コロナウイルス禍においても、無事に街歩きを実施することが出来ました。お世話になった関係者の皆様に感謝申し上げます。



生徒たちの展示作品

NPOまちづくり信州 浜由佳子さんの執筆文を基に、館報編集委員会で作成

長元坊 チョウゲンボウ

何十年ぶりかで大糸線に乗りました。

車窓から見る山は雪をまとい屹然と神々しい姿を見せてくれます。変わらぬ山を見て自分はずくづく変わってきたと思いました。年を取ったのです。少しずつ身体能力が失われ気が付いたらスキップが出来ません。小さな字は眼鏡を掛けてもルーペが必要。3点セット(シミ・シワ・シラガ)もすっかり板につきました。

物忘れも多くなり、川柳に「万歩計半分以上は探し物」というのがありました。うなずけます。

先日免許証を返納しました。自分はまた5年乗るつもりでいましたし、運転が好きでした。見たい所があると夜でも一人で飛んで行きました。運転が怖いと思ったこともありませんでした。それが急に嫌になったのです。自分でも驚きました。

ちなみに私は79歳の晩期高齢者です。個人的なことよりもこうなる人が増加する高齢化社会が心配です。若い方に頼るしかありませんね。それでも末期高齢者に向かつて車の経費(駐車代・保険料・車検代・税金)を計算し、まだまだタクシーで行きたい所へ行こうと思っっている今日この頃です。(A・S)

中央地区の樹木⑤

〔サクラ〕

松本城内やお堀周辺、辰巳の御庭、縄手通りなど、中央地区内にも桜を楽しめる場所が沢山あります。種類も豊富で、カワヅザクラ、ソメイヨシノ、ヤエザクラ、ヒガンザクラ、シダレザクラなどなど、早咲きから遅咲きまで約1ヶ月の間、桜を楽しむことが出来ます。

地区内の桜を見つけない、でかいませんか??



城西花壇沿いの桜並木

◎大手公民館のカワヅザクラ

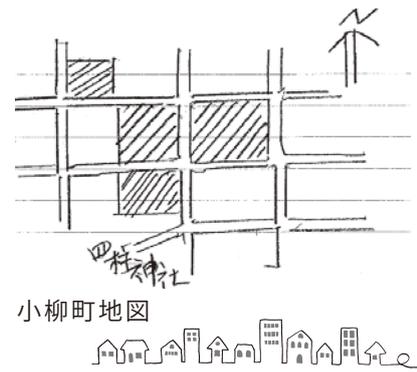
町会紹介 小柳町

私の町は総世帯134軒の小さな町会です。マンションが120軒で大半を占めています。昔からの住民は9世帯、通いの店舗が6軒で町会運営をしています。地図の斜線部分が小柳町会の範囲です。

私の子どもの頃を含めて、昭和の時代には映画館（エンギザ）、割烹料理店（魚網）、町の銭湯（松玉の湯）、旅館（東洋館）、その他天ぷら屋、帽子屋、機屋、理髪屋、うどん屋、喫茶店などがあり、隣接する緑町、上土町も含めて大変活気のある町でした。

時代の流れは厳しくて、平成、令和と変わってこれからの方向が見定めにくい状況になっております。コロナという、どうなるか分からない変化物が出て来ている時ですが

負けないように頑張りましたよ。
町会長 望月 益榮



JAPANESE HISTORY COLAMN

歴史コラム

新春を迎え令和三年の幕開けは、相変わらず厳しいコロナ禍に世界中が苦慮しています。この非日常生活はいつまで続くのでしょうか。巣ごもり状態の中で新聞、ラジオ、テレビ等の情報は非常に有難いことです。茶の間に居ながら日本中の各地・世界の国々の旅も見られます。

先月まで放送していた大河ドラマ「麒麟がくる」に登場していた武将達は今までも色々な映画やドラマの中で演じられています。坂東玉三郎さん演じる正親町天皇とはど

新春の様な天皇様なのか興味を持ちました。

第一代神武天皇、綏靖天皇、安寧、認徳、孝昭、孝安、孝靈、孝元、開化……とこころまでは暗記したものです。

さて信長や明智、秀吉の時代の正親町天皇は、第百六代（永正十四年（一五二七））文禄二年（一五九三）、年齢七十七歳で崩御されます。弘治三年（一五五七）四十一歳で即位し二十九年間在位されました。

足利義昭の上洛時には、彼を十五代将軍に任じ、織田信長が室町幕府を滅亡させると信長の政権を認め、豊臣秀吉が勢力を伸ばせば関白太政大臣の職を与えました。信長や秀吉も天皇に多額の援助を行いました。天皇の論旨を大いに利用しました。

一方で信長や秀吉が望んだ征夷大將軍と幕府の開設、讓位の要請は拒否し続け、正親町一代の間に天皇の権威を上昇させました。信長の強要に對しても強い意志と忍耐力で戦国時代を生き抜いた天皇様です。

坂東玉三郎さん演じる天皇は誠に高貴で威厳がありすばらしい。益々歴史に興味深くなりました。

「初代神武天皇は大和を平定し奈良原橿原宮（かしはらのみや）で即位し、在位年数七十六年、百二十七歳で崩御された」という伝説によって、万世一系の皇統が始まり今日に至っています。

そして近年、明治天皇は百二十二代、大正天皇、昭和天皇、上皇様は百二十五代、

避難所間仕切り寄贈



この度、中央地区町会連合会に、避難所などで使用される間仕切りが寄贈されました。

災害避難時に向けた支援として、市内の第一生命保険松本支社の県央オフィスと松本本町通営業オフィスからのご厚意によるものです。

間仕切りは布カーテンとパイプを組み合わせて設営するタイプのものです。段ボール間仕切りよりも耐久性があり、何度も使用することが出来ます。さらに、新型コロナウイルス感染症対策として密を避けることもでき、これからの避難所には欠かせない防災用品です。万が一に備えて、日頃の準備を少しずつ進めていきましょう。



寄贈式の様子



寄贈された間仕切り

編集後記

感染警戒レベルが5の際は中止にせざるを得ない事業もあり、人とのつながりが一時的に途絶えてしまった。

2月5日にレベルが下がり、事業が再開された。

ある日は全ての会議室が予約や講座で埋まり、賑わいで溢れていた。やはり面と向かって会話することで、「つながり」は強くなる。

参考文献：『図説歴代天皇百二十五代』

